

# カナン村

第108号



●発行:社会福祉法人いわき福音協会カナン村

●住所:いわき市平上平窪字羽黒40 ●TEL: (0246) 23-8611 ●FAX: (0246) 23-8612 ●E-mail: kanan@bz03.plala.or.jp



日帰り旅行 四季の里にて

あけましておめでとうござ  
います。皆様におかれまして  
は、清々しい新春を、お迎え  
のことと存じます。  
今年例年になく寒さが厳  
しく春の便りが来るのを今  
か、今かと待ちわびて居る方  
も多いのではないかと思われ  
ます。  
今年未年ということ、  
ヒツジは激しい競争や争いご  
とを嫌いなようです。どちら  
かと言えば、チームワークを  
好みフレンドリーなタイプで  
す。しかし、困難には負けず  
辛抱強いと聞いています。ま  
た、ヒツジは群れをなす事か  
ら家族の安泰を意味している  
と言われています。

「二人はみんなのために」と言う  
ことはありますが、今年、  
チームワークを大切に、お互  
いを尊重  
し、困難  
に負けず  
辛抱強く  
行きたい  
です。



今年幕開け早々に福祉を取  
り巻く情勢は、厳しさを増  
し、政府は、障害者への福祉  
サービスを提供する事業者に  
対し、おもに税金から支払う  
報酬を二〇一五年度から引き  
下げる方向で最終調整に入っ  
たという記事を見て驚きまし  
た。年々福祉サービスを利用  
する人達が増加してきている  
ため国の負担が増えてくる事  
は理解していますが、今後の  
動向が懸念される一年になり  
そうと感じています。  
一方、施設の現状を見てみ  
ると、施設利用者の高齢化・  
重度化は避けられない状態に  
なってきています。取り分け  
医療機関への通院業務や、入  
浴介助を含めた介護分野での  
個別対応が深刻になってきて  
おり、利用者さんへのきめ細  
かな対応が求められています  
。そのためには支援員の確  
保は元より支援員一人一人の  
資質向上を図り専門性を高め  
て今抱えている課題を一つ一  
つクリアしなければなりません。  
日本人の大好きな言葉で、

年頭に寄せて

所長 猪狩 忠

# ニエースヨラツシエ

## 第三十八回東北ブロック

### 身体障害者施設職員研修会

平成二十六年九月十一日、十二日に福島市において、全国並びに東北ブロック身体障害者施設協議会の主催による第三十八回東北ブロック身体障害者施設職員研修会が行われ、当施設からも所長はじめ五名の職員が参加した。

初日冒頭では、厚生労働省の障害福祉課課長補佐の落合克彦氏により、障害保健福祉施策の動向について、国の行政説明が行われた。障害者福祉施策のこれまでの経緯を踏まえ、障害者総合支援法と第四期障害福祉計画について、その骨子と重要ポイントについて説明がなされた。さらに、報酬改定、相談支援、就労支援について、さらには障害者虐待防止対策については、掘り下げた説明による国の方針が示された。また、それを踏まえて、平成二十七年障害福祉関係概算要求(一兆六、三三三億円・対前年度一、三二二億円)の概要について、説明がなされた。

また、行政説明後は、四つの分科会に分かれて、三時間に渡り各分科会において、講演と討議が活発に行われた。第一分科会では「利用者本位のコミュニケーション」利用



者本位の支援を実現するために、「虐待を防止・解決するために」第三分科会では「災害時の施設の役割」、第四分科会では

「福祉現場における成年後見制度」について、専門家の講演や討議、演習が行われた。

二日目は、全国身体障害者施設協議会会長の日野博愛氏による中央情勢報告で「地域の福祉拠点としての障害者支援施設の役割と身障協の取り組み」について分かりやすい説明報告がなされた。特に、社会福祉法人制度の見直しについて、その背景も含めた内容は、我々参加者にとって刺激的な内容であった。老人介護系の社会福祉法人において、目的のない内部留保が平均で数億円以上ある事、またその財務状況が不透明である事、ガバナンスが不足している事などの課題が話され、今後社会福祉法人の社会貢献事業が義務化される事、介護報酬の減額等の厳しい制度改革が行われる事が示された。

記念講演では、日本女子大学教授の久田則夫氏により「利用者本位の支援のために：人が育つ、職場が変わる気づき力」と題され、熱のこもった講演がなされた。氏は、利用者本人の思いやニーズ、職場内の問題や課題に気づく、気づき力が職員に求められると説き、現場経験に基づく具体的な事例を挙げながらの話に、参加した職員皆、真剣な面持ちで聞き入っていた。

(高原 直人)

## 不在者投票

●福島県知事選挙  
●県議会議員補欠選挙  
●第三十八回  
●衆議院議員選挙

平成二十六年十月二十六日執行の福島県知事選挙及び福島県議会議員補欠選挙、十二月十四日執行の衆議院議員選挙(小選挙区・比例区)、最高裁判所裁判官国民審査の不在者投票が、それぞれ執行日に先立ち、当施設内において行われました。



不在者投票は、事前投票制度の一つで、選挙日に投票所へ行かない人が、告示日の翌日から選挙期日の前日までの期間に、不在者投票管理人の管理する場所および現在地

で投票することができる制度です。



不在者投票ができる施設として指定されているカナン村においても、この制度のもと、会議室を投票所にして、猪狩忠所長を選挙管理者、自治会長の下山眞理子さんを立会人として、厳正で公平中立な環境の中、希望のあった利用者さんの投票が行われました。

**ありがとうございます  
ございました**

十二月二十四日、クレハ労働組合様よりご寄付をいただきました。利用者の処遇改善に使わせていただく予定です。

# オカモト例大祭に参加して

カナン村自治会 書記 齋藤 信



平成二十六年十月十一日(土)に、オカモトゴムの作業班四名と引率の職員一名でオカモト例大祭に行ってきました。その日の天候は秋晴れで、絶好の例大祭日和でした。以下に、出席して気が付いたこと等を挙げたいと思います。

- 一、初めて例大祭に参加したこと、工場の広さにびっくりした。
- 二、いろいろなお店が出店されており、どの列がどのコーナーなのか分からないぐらいに人がいて驚いた。
- 三、アトラクションが始まる

までの間、抑えられないくらいワクワクした。

- 四、最後に行われたお楽しみ抽選会では、どの賞品が当たるかわくわくした。
- 五、オカモトゴムに来たのだから、次回時間があつたら工場を見学したいと思った。

最後には出席者全員にお土産を頂き、工場を後にしました。午前中だけの予定で参加しましたが、気が付いたら午後になっており大変充実した例大祭でした。オカモトゴム様、今回はお招き頂き大変ありがたうございました。また、引率の職員さんもありがとうございました。

## 「ふくいんの日」

昨年九月より、キリスト教の学びの日として、毎月一回当法人理事の黒田昭一牧師を招き、聖書の言葉を学んでいます。

当法人の基本理念にも掲げられる聖書の信仰について、皆で学ぶ機会として、また、日々の生活や仕事をする上で、の糧として、参加者は真剣に黒田牧師の愛に満ちた言葉に聞き入っています。

# ボランティア ありがとうございました。



十一月二十一日、障害者スポーツ協会の方が三名来所し、卓球バレーを行っていたきました。この競技は卓球台を



使うもので、ネットを挟んで一チーム六人ずつがいすに座りピンポン球を転がして、相手コートへ三打以内で返すというものです。

初めて見るスポーツに、利用者だけではなく職員もとても驚きましたが、ベテランの指導者の方々のおかげで、すぐにルールを理解することができました。それぞれが声をかけあい、白熱したラリーが展開されていたのが印象的でした。

障害者スポーツ協会のみなさん、ありがとうございました。





### 日帰り旅行

九月十八日・九月三十日に日帰り旅行が実施されました。磐梯吾妻スカイラインを経由して紅葉を楽しみながら浄土平に向かいました。浄土平の休憩場所にてバスを降りる際にあまりの寒さに皆驚いていました。両日とも天候は良かったものの山の天気は変わりやすいと言言葉通



り、山に登るにつれて風が強くなり小雨もみられました。利用者・家族の皆さんは景色を眺め、もうすぐ訪れる冬を感じていました。ホテルでの昼食は、豪華なメニューで利用者・家族の方々も大変満足して美味しくいただくことができました。昼食後は、福島市に向かい四季の里にて散策・買い物を楽しまれて帰路につきました。旅行中は安全に楽しく出掛けてくることができました。来年もどんな旅行になるのか楽しみにしていただきたいと思います。



### カナン祭

十月五日(日)に、14カナン・野の花祭が開催されました。あいにくの雨模様ではありましたが、沢山のお客様にご来場いただき、大盛況の中終える事が出来ました。

恒例の催し物では、毎年皆さんが楽しみにしている小島保育園鼓笛演奏や十和奏一鼓による和太鼓演奏、湯本高校吹奏楽部による演奏に加え、今回初めての出演となるThe Groovesによるゴスペルも行なわれ、大盛り上がりでした。ゴスペルの最後には、某有名な北〇三郎さん!もスペインガルゲストで出演し『まじとなりました。その他、屋



外販売ではカナン村協力会特製の焼きそばとフランクフルトは完売し、軽食では今年初の試みとなるかき揚げうどんを販売し、ご好評頂きました。恒例のカナン・野の花祭ですが、施設の歴史と共に少しずつ変化を見せました。

### クリスマス会



そして、この先もまた違う顔を見せながら開催を続け、語り継がれて行く事と思えます。その数年でも開催に関わられたことに感謝し、ご協力頂いた各関係者の方々に深くお礼申し上げます。ありがとうございました!

表の「三羽鳥」によるカラオケの余興もあり新鮮味も感じられました。そして職員之余興は「AKB48」ならぬ「KNN48」!!それぞれが思い思いの衣装を身にまとい、当日の朝まで練習したダンスを披露しました。見た目の面白さに加え普段とのギャップに大爆笑の連続でした。

今年新たな試みとして久しく歌われていなかった「カナン村のうた」を皆で合唱して終了しました。これまでもは一味違った楽しいクリスマス祝会となったことと思います。また、来年もお楽しみに!

十二月十六日、日頃お世話になっている方々をお招きしてクリスマス祝会が行われました。礼拝は体育館で行われ、キャンドルを囲み厳肅な中で黒田牧師よりメッセージを頂き、この一年、無事に過ごせたことを感謝しました。次は皆さんお待ちかねの会食です。テーブルいっぱいにお並べられたご馳走をおいしくいただきました。今年は利用者が進みました。今年利用者は



# 徒然なるままに

vol.3

昔から「歌は世につれ世は歌につれ」とよく言われているが、私の子どもの頃にはテレビなどは無かったから、裕福な家庭や商売などをしてる家で、近所の仲間たちとよく一緒にテレビを見せてもらいに行った。多くの家庭では真空管式のラジオがしがみつくようにして音楽等を聴いていた。

いつだったか、ある番組で「こうして歌は生まれた」という内容のものをやっていた。

昭和三十九年に発売された岸洋子の「夜明けのうた」は、初め坂本九主演の連続ドラマ「ぼうや」の主題歌として坂本が歌い、働く少年を勇気づける歌であった。しかし、坂本九が超多忙であったことや何らかの都合で岸洋子が歌うことになった。そんなことから歌詞の中の「僕」を「あたし」に置き換えて歌ったところ、たったそれだけで、勤労少年の歌が格調高いラブソングに変身したという。

同じ様な話で、昭和四十三年に出された「恋の季節」は、当初ある女性歌手が「五月の恋」として歌っていたらしい。それを十五才でソロデビューした今

陽子がペンキキとキラーズのボーカルとして歌い、二〇〇万枚を越すミリオンセラーになった。

歌詞にある「夜明けのコーヒー」は、作詞家・岩谷時子と越路吹雪がフランス・パリのカフェを訪れた際に生まれたといひ、当時、十代のペンキキには全く意味も分からず、ただひたすら歌っていたという。

一曲の歌が人の一生のように様々な変遷を経て誕生し、そして、ヒット曲に恵まれるのは、その中のごく一部にすぎないことを知った。

さて、今年(今年)は「未」という字は枝が茂っている木の形で、まだ枝が伸びきっていない部分を描いたものと言われている。

また、「未」の

干支の特徴は、穏やかで人情に厚いとされる。眠れないときに



羊を数えるのはイギリスが発祥とされ、英語の Sheep が眠る意の Sleep に似ているため、暗示をかける作用があるのだそうだ。

諸説は色々ともあるようだが何はともあれ、今年(今年)は未来へ向かっての「未」として捉え、前を向いて歩いて行けたらと思っている。

(大河内記念館 館長 岡部 明)



## 新採用 & 職員紹介

新たに二名の方がカナン村の職員になりました。よろしくお祈りします！



支援員  
塩川 徹さん  
H26年10月1日より  
(光の家から異動)

支援員  
藍原慶一さん  
H27年1月1日より

よろしく  
お願いします！

☆個人情報保護法の全面施行に鑑み、紙面内写真は、本人等の了解のもと、掲載しております。

### カナン村内&周辺 最新放射線量 測定結果

(2015.1.20 現在)

玄関前	0.107
男子棟	0.073
男子棟前庭	0.102
女子棟	0.092
女子棟前庭	0.091
食堂	0.090
体育館	0.096
作業棟	0.060

平成26年9月～12月の歩み

	2日 消防設備点検		
	3日 平成26年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (福島市)		
	4日 原子力災害にかかる避難計画作成ガイドライン検討会 (福島市)		
9月	9日 福祉体験学習(赤井中学校4名)		
	11日 第38回東北ブロック身体障害者施設職員研修会～12日 (福島市)		
	18日 日帰り旅行1班 (福島市)	平成26年度職場におけるメンタルヘルス研修～19日 (福島市)	
10月	24日 平成26年度障がい児者福祉施設協議会研修会 (郡山市)		
	30日 日帰り旅行2班 (福島市)		
	5日 2014カナン・野の花祭 (福島市)		
11月	6日 平成26年度自衛消防隊員教育～7日 (福島市)		
	7日 平成26年度社会福祉施設栄養士研修会 (郡山市)		
	7日 理事会・評議員会		
		福島県栄養士会いわき支部研修会 (いわき市)	
		福島県障がい者虐待防止・権利擁護研修 (福島市)	
	8日 岡田食品展示会 (いわき市)		
		平成26年度福祉サービスに関する苦情解決研修会 (郡山市)	
		施設従事者による虐待対応の研修会 (いわき市)	
	9日 地域保健関係職員等研修会 (いわき市)		
	11日 オカモト(株)福島工場鎮守稲荷例大祭参加		
	14日 平成26年度安全運転管理者等講習		
	19日 いわき地区障がい者福祉連絡協議会研修会		
	23日 福島県知事選挙・福島県議会議員補欠選挙不在者投票		
	26日 平窪公民館まつり		
	28日 法人苦情解決委員会		
	29日 「エデンの家」開所式		
	31日 平成26年度社会福祉施設看護職員等研修 (郡山市)	平成26年度秋のいわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動	
12月	5日 利用者インフルエンザ予防接種 (男子)	全国社会福祉法人経営者大会 (郡山市)	
	6日 法人セキュリティセミナー		
	7日 利用者インフルエンザ予防接種 (女子)		
	10日 介護等体験実習 (明星大学、白鷗大学)		
	14日 東北ブロック身障協タイムスタディ調査 (宮城県)		
	17日 平成26年度職場研修担当職員研修 (福島市)	全国身体障害者施設協議会スキルアップ研修会 (東京都)	
	21日 平成26年度介護プリセプター模擬 (いわき市)		
	26日 安全衛生推進者養成講習会 (いわき市)		
	4日 ショッピングデー1班 (イトーヨカドー平店)		
	5日 第29回障がい者作品展～12日 (イオンいわき店)		
9日 第47回衆議院議員総選挙不在者投票			
11日 ショッピングデー2班 (イトーヨカドー平店)			
15日 散髪日 (四倉床屋組合)			
16日 カナン村クリスマス会			
18日 ショッピングデー3班 (イトーヨカドー平店)			
22日 作業終了日			
25日 大掃除			
26日 カナン村協力会懇談会			



「ありがとう  
ございました。」  
九月三十日をもちま  
して、小林達弥支援員が野  
の花ホームへ異動となり  
ました。新天地での活躍  
を期待しております。

祝 受賞!

第29回 障害者による書道・写真全国コンテスト 写真部門・ポートレートの部にて、

磯 和也さんが銅賞を受賞しました！  
おめでとうございます！  
ございます！



↓第29回障害作品展  
磯さんの作品「ごきげん」



先日、とあるきつかけから他事業所の職員と話す機会があった。利用者支援についての内容だったのだが、そこで挙げたのがバイステックの七原則についてであった。その懐かしい単語の登場に、大きな衝撃を受けてしまった。学生時代、定期試験に向けて言われるがまま専門用語を覚えたものだが、当時はただ文字を覚えるのみであったし、何も理解できていなかった。福祉の仕事に就き約十年、この七原則の持つ意味が今になって少し理解できるようになったように感じる。

色々な業務に携わらせてもらい、少しずつ自信もついてきた。これまでの経験から学んだことは、何物にも代え難い大きな財産だろう。しかし、それだけを過信することは、自分にとっても相手にとっても大いに危険である。自信がないことも問題なのだが、まだまだ自分からできないことも多く、福祉の世界は難しくとも奥深いと思う。日常を過ごす中で基本に立ち返り、現在を見つめ直すことも重要であると感じた出来事であった。

あ  
と  
が  
ま